

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	令和3年度
------	-------------	------	-------

【目次】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
2. 運營業務	6
(1) 利用実績		
1) 利用者数等		
2) 施設稼働率		
3) 教室・イベント等参加者数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 広報		
(5) 情報管理		
3. 自主事業	13
II. サービスの質の評価	16
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	17
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	19
1. 目標		
2. 評価結果		

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	令和3年度
指定管理者	一般財団法人 沖縄美ら島財団 指定期間：令和3年4月～令和8年3月	所管課	文化観光スポーツ部 文化振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
<p>清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整える</p> <p>1 清掃業務（日常清掃）</p> <p>①床面清掃 ②展示室等 ③ガラス清掃 ④トイレ清掃 ⑤給湯室内及び冷水器 ⑥エレベーターの清掃</p> <p>2 清掃業務（定期清掃）</p> <p>定期的な清掃を実施する。</p> <p>①床ワックス塗布等 ②駐車場の枯れ葉・ゴミ拾い等 ③IPM清掃</p> <p>3 環境衛生管理業務</p> <p>①空気環境測定 ②貯水槽掃除及び消毒 ③飲料水水質検査 ④雑用水水質検査 ⑤遊離残留塩素の測定 ⑥ねずみ、昆虫等の防除 ⑦汚水槽の清掃</p>		○	<p>1 日常清掃</p> <p>・施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、日常清掃を計画的に実施した。</p> <p>・開館中は、各トイレの巡回点検清掃を計画的に行い、各展示室のガラス部分の手アカ等の拭取り、館内に持ち込まれた土砂の清掃、汚れの除去等巡回清掃の強化を行い、お客様がいつでも快適に施設を利用できるよう心がけた。</p> <p>・コロナ感染症拡大防止策として、手すりやPCのタッチパネルなど、人が触れる箇所は清掃回数を増やすなどの対応を行った。</p> <p>2 定期清掃</p> <p>・各室のワックスの塗布、カーペット等のクリーニング、扉や手すりの清掃等を定期的に行い実施した。</p> <p>・定期的に駐車場および外周の枯れ葉・ゴミ拾いを行い、景観維持に努めた。</p> <p>・IPM関連に基づき、月1回各展示室、収蔵庫等及びふれあい体験室の立体面の除塵作業を博物館・美術館学芸員の立ち会いのもと行った。</p> <p>3 環境衛生管理</p> <p>建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管理法)に則り、設備維持管理計画表のとおり適切に実施した。</p>	<p>仕様書どおり毎日(場所により週2回)の日常清掃と、年3～6回の定期清掃が適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施されている。今後も適切な業務実施に取り組む必要がある。</p>	

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>きめ細やかな点検と問題の早期発見による適切な対策を実施し、誰もが安全・安心に利用できる管理水準を維持しつつ、県と連携しながら施設の長寿命化に努める。</p> <p>1. 施設管理</p> <p>①自動制御設備点検</p> <p>②熱源機器点検</p> <p>③冷却塔点検</p> <p>④空気調和設備点検</p> <p>⑤空調機フィルター点検</p> <p>⑥換気送風設備保守点検</p> <p>⑦水処理装置点検</p> <p>⑧消防設備点検</p> <p>⑨自家用電気工作物点検</p> <p>⑩駐車場装置点検</p> <p>⑪トップライト点検</p> <p>2. 講堂等設備</p> <p>①音響・映像設備</p> <p>②舞台機構設備</p> <p>3. 植栽管理</p> <p>4. 自動扉開閉装置点検</p> <p>5. 情報システム管理</p> <p>6. 燻蒸消毒業務</p> <p>7. 美術館デイトルーパー</p> <p>8. 昇降機設備</p> <p>9. 電熱式ユニット型蒸気加湿器</p>		○	<p>施設及び設備を適正に運用・維持保全するために、運転管理、保守点検、清掃、衛生管理、保安警備等の維持管理業務について関係法令等を遵守し実施した。</p> <p>・年間計画に基づき、定期保守点検を行い機器等のトラブルの無いように努めた。</p> <p>・メーカーより設置から15年経過しているため更新の依頼があったため県に適宜報告した。</p>	<p>事業報告等に基づき適正に業務が実施されている。委託先へのヒアリングを実施するとともに、中央監視設備日報、業務実施工程表及び設備点検報告書(各設備ごと)等の確認を行った。</p>	<p>仕様書や定期点検周期、関連法令に基づき、適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施されている。今後も県と指定管理者と連携を密にし、適切な業務実施に取り組む必要がある。</p>

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>お客様の安全を最優先に考えて警備業務を行います。防災センターは24時間体制を整えるとともに、夏休みなど繁忙期には整理・誘導等を行う臨時警備員を必要に応じて増員配置する。</p> <p>1. 警備業務 ① 出入り管理業務 ② 防災監視業務 ③ 開館・閉館業務 ④ 全館巡回業務 ⑤ 非常時の応急処置 2. 駐車場管理業務 ① 駐車場管理業</p>		○	<p>(開館) 8時00分～18時30分の間、常時3名+駐車場1名体制による警備を実施。※金・土曜日の駐車場については20時30分まで実施。</p> <p>(閉館) 8時00分～18時30分の間、常時2名体制による警備を実施。</p> <p>(夜間) 18時00分～翌日8時30分までの間、2名体制による警備を実施。 ・定期巡回を昼3回、夜4回実施。 ・鍵借用簿にて鍵の貸出管理を徹底した。 ・通用口での入退館者のチェックの強化を図った。</p>	<p>事業報告等に基づき適正に業務が実施されている。指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務月間予定表、鍵借用簿、警備日報、警報発令履歴の確認を行った。</p>	<p>事業計画のとおり実施されている。仕様書どおり昼間3～4名(駐車場管理含む)、夜間2名が配置されていた。また、警備日報も詳細に記録されており、適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施されている。今後も適切な業務実施に取り組む必要がある。</p>

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>施設の修繕補修は、1件につき20万円(消費税及び地方消費税含む)未満のものについては指定管理者の責任の範囲において実施する。</p>		○	<p>令和3年度は13件の修繕を実施した。 ・吸収冷温水機点検調査 ・BOA-3空調機修繕 ・3F美術館側外階段電子錠不具合修繕 ・ゆいむい天井・壁面カビ除去 ・ふれあい体験室冷房機ファンモーター取替 ・美術館トラックヤード扉ストライクスイッチ取替 ・エレベーター機械室給排気ファン整備 ・全熱交換器整備(警備室・美術館スタッフルーム) ・ファンコイル用冷水二方弁修繕 ・受水槽室火災報知器取替 ・カフェ用水道メーター取替 ・温水熱源制御用3方弁パッキン ・加湿器フロートスイッチ</p>	<p>施設の機能維持安全管理のための修繕が実施されていた。</p>	<p>状況に応じ適切に業務が実施されている。</p>	<p>良好に実施された。不具合への対応について今後も柔軟に対応し、施設機能の維持に努める。</p>

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な機器については県と相談し整備する。	○		令和3年度は4件の備品を購入した。 ・デスクトップPC ・ビデオカメラ ・ライブプロダクションスイッチャー ・ノートパソコン	備品を確認したところ適切に管理されていた。	必要な備品購入であり適切に対応している。	良好に実施された。コロナ禍における備品需要等について、今後も柔軟に対応する必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員向け防災設備の説明会(4月) 県職員及び指定管理者職員を対象に、当館に設置されている消防設備等の説明会を実施した。 ・表スタッフ向けマニュアル研修(12月) 沖縄美ら島財団・博物館友の会・happスタッフを対象に、消火器(栓)の使い方や避難誘導・救命措置に関する方法等の研修会を実施した。 ・総合訓練(火災・地震)(11月・3月) 火災及び地震発生時に適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、併せて従業員の防火意識の向上を目的に実施した。 ・夜間消防訓練(10月・2月) 夜間の火災発生時に適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、非常時の通報・連絡体制の確認および初期消火における知識技能の向上を目的に実施した。 ・防犯研修(2月) 来館者と収蔵品の安全を守るため、防犯研修を実施し、職員の防犯意識の向上及び緊急時の対応に必要な知識と技術の習得を図ることを目的に実施した。 	指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務予定表、鍵借用簿、警備日報及び警備発令の確認を行った。	事業報告等に基づき適正に業務が実施されている。	良好に実施されている。今後も適切な業務実施に取り組む必要がある。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	前年度に引き続き適切な管理業務が実施された。今後も安全・安心に利用できるよう、適正な施設の維持管理等に努める。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R4年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		R2実績	事業計画 (目標値)	R3実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	有料入館者数	81,366人	61,721人	37,054人	45.5%	60.0%	新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や臨時休館、施設利用制限、イベントや展覧会の中止等が影響した。
	無料入館者数	75,313人	138,279人	102,342人	135.9%	74.0%	
	計	156,679人	200,000人	139,396人	89.0%	69.7%	

評価(①利用状況)	—
-----------	---

【評価基準 (①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

2) 施設稼働率

準備片付けも含める

		R2実績	事業計画 (目標値)	R3実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
全館		239日	302日	205日	85.8%	67.9%	コロナによる臨時休館の影響により、展示室の稼働率は前年を下回った。一方、貸館施設である講堂や講座室、県民ギャラリー等はほとんどの施設で前年を上回った。
博物館	常設展示室	239日	302日	205日	85.8%	67.9%	
	企画展示室	233日	302日	49日	21.0%	16.2%	
	特別展示室	233日	302日	185日	79.4%	61.3%	
	博物館講座室	147日	302日	162日	110.2%	53.6%	
	博物館実習室	97日	302日	95日	97.9%	31.5%	
美術館	コレクション展	239日	302日	201日	84.1%	66.6%	これは、貸施設の利用促進に向け、以下の新たな施策に取り組んだことも奏功した。①全ての部屋をWi-Fi対応化、②貸施設可能時間を18時から22時に延長、③県民ギャラリーの4月～6月分の申込開始を前倒し。
	企画展示室1	171日	302日	153日	89.5%	50.7%	
	企画展示室2	150日	302日	144日	96.0%	47.7%	
	美術館講座室	135日	302日	172日	127.4%	57.0%	
	県民アトリエ	47日	302日	62日	131.9%	20.5%	
	子供アトリエ	40日	302日	54日	135.0%	17.9%	
	県民ギャラリースタジオ	49日	302日	87日	177.6%	28.8%	
	県民ギャラリー1	120日	302日	146日	121.7%	48.3%	
	県民ギャラリー2	93日	302日	142日	152.7%	47.0%	
県民ギャラリー3	77日	302日	112日	145.5%	37.1%		
その他	講堂	96日	302日	140日	145.8%	46.4%	

【評価基準 (①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

参考) 3年間の利用者数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	有料入館者数	162,603人	81,366人	37,054人
	無料入館者数 (展示室以外の無料者も含む)	414,925人	75,313人	102,342人
	合計	577,528人	156,679人	139,396人

参考) 3年間の施設稼働率

稼働日数 (稼働率)		令和元年度	令和2年度	令和3年度
全館		299日 (100%)	239日 (80%)	205日 (67.9%)
博物館	常設展示室	299日 (100%)	239日 (80%)	205日 (67.9%)
	企画展示室	299日 (100%) ※準備、片付けを含む	233日 (78%) ※準備、片付けを含む	49日 (16.2%) ※準備、片付けを含む
	特別展示室	299日 (100%) ※準備、片付けを含む	233日 (78%) ※準備、片付けを含む	185日 (61.3%) ※準備、片付けを含む
	博物館講座室	224日 (74.9%)	147日 (61.5%)	162日 (53.6%)
	博物館実習室	175日 (58.5%)	97日 (40.6%)	95日 (31.5%)
美術館	コレクション展	299日 (100%)	239日 (80%)	201日 (66.6%)
	企画展示室1	293日 (98.0%) ※準備、片付け、 展示環境調整期間を含む	171日 (57%) ※準備、片付けを含む	153日 (50.7%) ※準備、片付けを含む
	企画展示室2	293日 (98.0%) ※準備、片付け、 展示環境調整期間を含む	150日 (50%) ※準備、片付けを含む	144日 (47.7%) ※準備、片付けを含む
	美術館講座室	263日 (78.9%)	135日 (56.5%)	172日 (57.0%)
	県民アトリエ	144日 (48.2%)	47日 (19.7%)	62日 (20.5%)
	子供アトリエ	123日 (41.1%)	40日 (16.7%)	54日 (17.9%)
	県民ギャラリースタジオ	125日 (41.8%)	49日 (20.5%)	87日 (28.8%)
	県民ギャラリー1	220日 (73.8%)	120日 (40%)	146日 (48.3%)
	県民ギャラリー2	198日 (66.4%)	93日 (31%)	142日 (47.0%)
	県民ギャラリー3	170日 (57%)	77日 (26%)	112日 (37.1%)
その他	講堂	181日 (60.5%)	96日 (40.2%)	140日 (45.4%)

参考) 3年間の県外入館者(観光客)数 ※推定値

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
レンタカー (台数×2.5=人数)	22,849人	5,602人	6,383人	
タクシー (台数×2.5=人数)	9,779人	2,498人	2,501人	
モノレール	6,446人	1,163人	1,154人	
県外団体	534人	50人	90人	
県外修学旅行	14,155人	1,217人	1,747人	
国外団体	847人	0人	0人	
合計(a)	54,610人	10,530人	11,875人	
年間総入館者数(b)	577,528人	156,679人	139,396人	
入館者数に占める割合 (a)/(b)	9.5%	6.7%	8.5%	
年間入域観光客数(C)	9,469,200人	2,583,600人	3,274,300人	
入域観光客数に占める割合 (a)/(c)	0.58%	0.41%	0.36%	

※レンタカー、タクシーによる来館及びモノレール1日利用券を提示し、割引を受けた来館者を県外からの来館者(観光客)とみなして算出。

3) 展覧会入場者実績

	内容	R 3 事業計画	R 3 実績	整合性の検証 (計画達成率%)	現状分析 ・課題
博物館入 場者数 (人)	常設展 (企画：県)	有料:32,226人	有料:19,553人	60.7%	5/23～7/11および 7/22～9/30の臨時 休館により上半期 は展覧会の会期短 縮が相次いだ。 新収蔵品展：当初 会期30日→短縮後 会期5日、みんな の進化展：54日→ 1日、石川真生 展：58日→45日 下半期は県民の利 用促進に力を入 れ、県主催企画展 の告知を強化し た。 その結果、入場者 実績は事業計画比 で海とジュゴンと 貝塚人(137%)、 琉球の横顔 (109%)となり、 展覧会単体での計 画目標を達成し た。
		無料:21,574人	無料:12,881人	59.7%	
	企画展・特別展 (企画：県3本、指0本) ※「みんなの進化展」1 本が特別展	企画展 有料:6,274人	新収蔵品展(県)：86人	46.3%	
			海とジュゴンと貝塚人 (県)：2,819人		
			小計:2,905人		
		特別展 有料:6,336人	みんなの進化展(県)：86人	1.4%	
			小計:86人		
		有料合計:12,610人	合計:2,991人	23.7%	
	企画展 無料:2,426人	新収蔵品展(県)：79人	39.2%		
		海とジュゴンと貝塚人 (県)：872人			
小計:951人					
特別展 無料:3,664人	みんなの進化展(県)：57人	1.6%			
	小計:57人				
無料合計:6,090人	合計:1,008人	16.6%			
博物館合計	合計:72,500人	合計:36,433人	50.3%		
美術館入 場者数 (人)	コレクション展 (企画展：県)	有料:12,656人	有料:9,848人	77.8%	
		無料:11,044人	無料:6,213人	56.3%	
	企画展 (企画：県2本 指0本)	有料:4,229人	石川真生展(県)：1,915人	110.2%	
			琉球の横顔(県)：2,747人		
			有料小計:4,662人		
	無料:2,271人	石川真生展(県)：259人	35.0%		
		琉球の横顔(県)：535人			
無料小計:794人					
美術館合計	合計:30,200人	合計:21,517人	71.2%		
	102,700人	57,950人	56.4%		

(2) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
来館者に接する発券、もぎり、総合案内、交流員、情報センター、ショップスタッフの一人ひとりが質の高い接客サービスを提供できるよう接遇研修を実施し、臨機応変な来館者サービスを行います。	○	○	財団をはじめとするスタッフ全員へ、接客マニュアルの更新情報や数名のグループに分かれアンケートのご意見についてロールプレイングを行い、認識を共有するなど研修を実施した。 その他に、総合訓練で課題になった避難誘導の経路や消火機器などの取り扱いについて説明を実施した。 また、展示室毎に設置しているアンケートの他に、接客スタッフが記入する業務日誌からも、「お客様の声やご意見」を収集し、担当者へ速やかに情報共有し来館者サービスなどに生かしている。その他、企画展の開催前には展示交流員を対象とした学芸員研修を実施し、展示概要、監視業務を行う上での注意事項などの研修会を行った。	指定管理者へのヒアリングにより確認。	適切に実施している。	アンケートの要望等にも対応しつつ、引き続き質の高いサービスの提供に努める必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>観光客の来館を増やし、沖縄観光の推進に寄与します。</p> <p>①質・量ともに優れた誘客・広報活動</p> <p>②県内外ネットワークの活用と沖縄美ら海水族館や首里城公園との連携</p> <p>③沖縄固有の歴史文化を楽しく鑑賞・体験できる情報提供</p>	○		<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館や展覧会・催事等の中止・変更、開館再開のお知らせなどを当館ウェブサイトやSNSなどで告知。その他、マスコミや県内観光施設、ホテル、レンタカー営業所向けにはニュースリリースを配信し県民や観光客へ最新の開館情報が行き渡るように努めた。</p> <p>県主催企画展「新収蔵品展」「みんなの進化展」「海とジュゴンと貝塚人」「琉球の横顔」では県内の学校や図書館、文化施設、教育機関、銀行、病院など約2,000箇所にチラシやポスターを配布し、展覧会を告知した。「みんなの進化展」では子ども向けチラシを新たに制作し、那覇・浦添地区の全小学校をはじめ、本島中南部の小学校へクラスごとにチラシを配布した。</p> <p>令和3年度から新たに博物館常設展及び美術館コレクション展の魅力を高める集客施策として「万国津梁の鐘プロジェクト」「アートを身近に！プロジェクト」を実施した。</p> <p>新聞紙面に無料、有料広告の掲載(全428回)した。</p> <p>ニュース報道及びテレビコマーシャルによる広報(全31回)を行った。</p> <p>ラジオの無料告知及び有料コマーシャルによる広報を(全7回)行った。</p> <p>雑誌、機関紙等様々な媒体へ当館及び展覧会情報を掲載(全60回)した。</p> <p>ウェブサイト(無料告知)による広報(全137回)を行った。</p>	<p>指定管理者へのヒアリングにより確認。</p>	<p>事業報告書等のおり適切に実施している。</p>	<p>コロナ感染状況の先行きが不透明ななか、低コストで機動的に情報を届けられるよう、新聞の無料掲示板にこまめに情報を発信する、近隣市内の小中学校にチラシを直接配布する、自力で動画制作を学んでSNSに投稿する、などに取り組んでいる。</p> <p>また、10月以降は感染者数が減少してきたタイミングに合わせ、おきみゅー誕生祭やプロムナードコンサート等のイベントを実施し集客に努めるなど柔軟に対応している。</p>

		<p>展覧会の解説動画などを全44本を制作しYoutubeチャンネルやエントランスのモニターで公開した。</p>		
		<p>GWはみんなでおきみゅークエスト！(5月1日～5月5日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し実施。期間中の総入館者数2,559人。</p>		
		<p>おきみゅー誕生祭(10月30日～11月3日) 博物館常設展と美術館コレクション展の無料開放日であった琉球歴史文化の日(11/1)は博物館常設展328人、美術館コレクション展は258人、文化の日(11/3)は博物館常設展1,961人、美術館コレクション展1,366人を記録し、令和2年度と比べ観覧者数を大きく伸ばした(博物館常設展 前年比137%、美術館コレクション展 前年比190%)。期間中の総入館者数5,620人。</p>		
		<p>プロムナードコンサート 新型コロナウイルス感染症の影響を受けることを考慮し、月1回程度の開催スケジュールを組み立てた。6～9月は緊急事態宣言下の休館により開催延期を余儀なくされたが、10月以降で日程を調整し、計8回実施した。</p>		
		<p>琉球古典音楽演奏会 沖縄県立芸術大学と連携して実施している本イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から1日(2回)のみ開催。</p>		
		<p>首里城公園では特設ラックを設置し、当館の展覧会告知を通年を通して行った。また当財団が管理運営する「沖縄美ら海水族館」「首里城公園」の半券提示でミュージアムショップゆいむいでガチャを回してノベルティグッズが当たるキャンペーンを実施した。参加人数728人。</p>		

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報の保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。	○		個人情報保護マニュアルに基づき運用を実施した。また、情報システム管理保守を適正に行った。	適切に実施されていた。	適切に実施されていた。	今後も個人情報の漏洩等に注意し適切な情報管理に努める。

3. 自主事業

(1) 展覧会

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
別添①にて取りまとめ						

(2) その他 (ミュージアムショップ、カフェ)

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用者の利便性向上を図るため、公有財産の目的外使用を沖縄美ら島財団へ許可している。 ミュージアムショップは沖縄美ら島財団の直営、カフェは委託して運営されている。	○		〈ミュージアムショップ〉 ゆいむい 【収益】 R3年度 ▲95万円 (R2年度 ▲56万円) 【購入客数】 R3年度 6,074人 (R2年度 10,010人)	企画展関連の図録や首里城関連のグッズなど、様々な来館者ニーズに対応出来るよう商品を豊富に揃えられている。	業務仕様書等に基づき利用者の利便性向上を図る取組として適切に実施されていた。	2件の自主企画展を実施した令和2年度に比べ、自主企画展の無かった令和3年度はショップの購入客数が減少している。 店舗の収益性を高められるよう、閑散時期におけるスタッフ配置の1日4人から3人への削減や、オリジナルグッズの拡充による粗利益率の向上、県内大型書店と連携した「みんなの進化展グッズ販売コーナー」の設置など、収支改善に取り組んでいた。 カフェは客数が減少したが、賃借料の減免措置の活用により黒字となっている。
		○	○	〈ミュージアムカフェ〉 カメカメキッチン 【収益】 R3年度 50万円 (R2年度 ▲47万円) 【客数】 R3年度 7,279人 (R2年度 10,027人)	テナントとしてカメカメキッチンがカフェを営業している。	

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	<p>運営業務については、コロナ禍の状況下においても安定的に観覧者、施設利用者を確保するため、感染症予防対策の徹底、効果的な広報活動、アンケート結果等を踏まえた対応等により、利用者満足度の向上に取り組む。</p> <p>自主事業については、安定的に運営ができるようサービス内容の改善・向上に取り組む、利用者の利便性向上等に取り組む。</p> <p>今後も引き続き、入館者数の増加に繋がる企画展の開催や、自主事業の実施に取り組んでいく必要がある。</p>
-----------------------------	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R4年度)の主な取組改善案を記入してください。

別紙① 美ら島財団自主事業一覧

自主事業名称		実施内容	活動指標	改善分析	実施時期													
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	展覧会	なし	なし	【入場者】 0人														
		① なし	なし	【参加者】 0人														
		② なし	なし	【参加者】 0人														
		③ なし	なし	【参加者】 0人														
		④ なし	なし	【参加者】 0人														
2	ふれあい体験室ワークショップ 【有料】①300円 ②400円 ③400円 ④300円	ふれあい体験室の体験キットや展覧会の充実・発展を目的に、各分野担当学芸員や専門の指導者と協力して4つのプログラムを開催した。(毎週土曜日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5-6月、1-2月は一部中止、7-9月は全日程中止した。 ①【4~6月】ふれたい博士のてづくりおもちゃ ②【7~9月】ふれたい博士の葉脈標本 ③【10~12月】ふれたい博士の葉脈標本 ④【1~3月】ふれたい博士の星座万華鏡づくり	【参加者】 229人		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3	プロムナード・コンサート 【無料】	美術館支援会happと連携し、エントランスホールのグランドピアノを活用したミュージアム・コンサートを定期開催する。県内で活動する音楽アーティストの発表機会を創出するとともに、地域に愛され、人々が集う文化・芸術の街づくりに貢献した。(4/4、5/9、11/6、12/18、12/19、12/25、3/20、3/21)	【参加者】 680人	●	●							●	●				●	
4	2021 GWはみんなでおきみゅーくエスト! 【一部有料】	ゴールデンウィーク期間に家族や友達など小さなグループで博物館・美術館をより深く楽しめる催事や企画を教育普及の観点から実施し、当館の魅力向上を図った。(5/1~5/5)	【参加者】 292人		●													
5	『深層サメ学』出版記念講演会 【有料】500円	『深層サメ学』の出版記念として、著者の二人が最新のサメ研究について講演した。沖縄美ら海水族館が取り組む世界初のサメの人工子宮についての話もあり、先端の研究成果を知る機会となった。公演終了後にはサイン会も実施した。(10/30)	【参加者】 89人									●						
6	「アートを身近に！」プロジェクト 世界の名画に頼りもう 【無料】	海外の7つの美術館の作品データを、実寸大に出力して、展示室に展示した。美術鑑賞の敷居を低くすることを目的に、全作品には作家や作品の鑑賞法などの詳しい解説文と子ども向けの解説文を付けた。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8-9月は中止。(8/1~10/9)	【参加者】 1,656人						●	●								
7	おきみゅーく誕生祭2021 【一部有料】	開館14年目の節目を祝い誕生祭を実施し、新規客層の獲得を図るとともに無料開放となる博物館常設展および美術館コレクション展の観覧促進を図った。(10/30~11/3)	【参加者】 1,567人								●	●						
8	大人のため島野菜・伝統野菜講座 「消えゆく沖縄の島野菜・在来作物を救え！」 【有料】500円	財団総合研究センター植物研究室の研究員を講師に、伝統的農産物(島野菜)やその他の作物の中でも、栽培を放棄され希少種となった品目について、現在の栽培の様子や生育、頒布について紹介した。(11/1)	【参加者】 57人										●					
9	万国津梁の鐘プロジェクト 解体梵鐘 vol.2 「鐘の見どころ、徹底解説！」 【有料】博物館常設展示室観覧料	歴史担当の崎原学芸員による展示解説会。はじめに「万国津梁の鐘」プロジェクトの主旨を説明し、崎原学芸員が配布資料を一通り説明したのち、参加者を展示室へと案内した。博物館常設展示室内へ移動後は約40分間にわたって、当館収蔵の和鐘について明らかになっていること、見どころポイントなどが紹介された。2回実施。(11/20、12/19)	【参加者】 23人										●	●				
10	万国津梁の鐘プロジェクト 解体梵鐘 vol.3 「万国津梁の鐘の音をサイエンス！」 【有料】500円	万国津梁の鐘の「音」に着目したワークショップで物理教諭の金城靖信氏、金細工職人の上原俊展氏による音と金属についてのサイエンス実験を実施した。(11/27)	【参加者】 11人										●					
11	万国津梁の鐘プロジェクト 解体梵鐘 vol.1 「万国津梁のナゾに迫る」 【無料】	沖縄歴史探求家の賀数仁然氏を講師に、「万国津梁の鐘」にまつわる講演を行い、本鐘についての理解を深める機会とした。(11/3)	【参加者】 120人										●					
12	「アートを身近に！」プロジェクト 夜な夜なワークショップ 【有料】1,000円	創作体験を通じて、アートを楽しむきっかけを提供する目的で、ビギナーを対象としたワークショップを実施した。 ①色であそぼう！なないろカレンダー(11/19) ②煌めくコンパクトミラー(12/17) ③塗り絵みたいな刺繍でオーナメント(1/14、1/21) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため③は中止。	【参加者】 15人										●	●	●	●	●	
13	「アートを身近に！」プロジェクト 13才からのアート講座 【有料】500円	アートをより楽しく身近に感じられる情報や知識を提供し、県民が美術作品や美術館に興味を持つきっかけをつくる目的で、当財団企画班の学芸員がそれぞれの得意分野を活かし、若年層やアートビギナーにも分かりやすい講座を実施した。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため③④は日程を延期して実施。 ①デザインとは、何か？(12/3) ②画題で楽しむ日本の絵画(3/4) ③西洋絵画入門(2/4~3/20) ④戦後沖縄美術の出発点(1/28~3/25)	【参加者】 74人												●	●	●	●
14	「アートを身近に！」プロジェクト 美術館コレクション展音声ガイド 【無料】	来場者の満足度を高め、美術館への再訪を促す事を目的として、沖縄の歴史や美術の知識が無くても作品を楽しむ事が出来る音声ガイドを製作した。また、コロナ禍でも安心して利用できるように、来館者自身のスマートフォンやタブレットを使ってガイドが聞ける仕組みを作り、提供した。実施期間：1/29~3/31	【利用件数】 848人													●	●	●

Ⅱ. サービスの質の評価

第三者評価について

【総合アンケート】

回収期間： R3.4～R4.3

回収件数： 827件

回収方法：正面玄関入口等に設置 ※各アンケートの詳細は別添②参照

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	R2評価	R3目標	R3評価			
維持管理業務 施設・設備管理	〈満足度〉 84% ・満足 69% ・やや満足 15% ・どちらでもない 13% ・やや不満 2% ・不満 1%	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 85% ・満足 71% ・やや満足 14% ・どちらでもない 12% ・やや不満 2% ・不満 1% 〈改善要望〉 「展示順路が分かりにくい」「展示室のモニターの画質が悪い」「座れる場所が欲しい」「解説がもっと必要」などの意見があった。	—	業務仕様書、管理規則等に基づいて適切に管理を行った。施設設備の保守点検や清掃を徹底し、安全に努めアンケートでも「トイレがきれい」などお褒めの言葉をいただいた。前年度と比べ満足度が低下した一因として、「外壁が汚い」などのご意見が複数あり経年劣化による影響が考えられる。	概ね良好である。備品の故障等については、利用者からの改善要望をもとに、連絡調整会議等で協議しながら対応する必要がある。コロナ禍で県の財政状況は引き続き逼迫しているものの、来館者サービスに影響がある備品については、予算化に努める必要がある。
運営業務 接客対応	〈満足度〉 83% ・満足 65% ・やや満足 18% ・どちらでもない 15% ・やや不満 1% ・不満 1%	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 81% ・満足 66% ・やや満足 15% ・どちらでもない 15% ・やや不満 2% ・不満 2% 〈改善要望〉 「係員の注意が強かった」「行動監視されているようで気が散る」などの意見があった。	—	マニュアルを使った接客研修や、企画展ごとに現場スタッフ用の勉強会を開くなど、接客サービスの向上に取り組んだ。今後も接客満足度の維持向上に向けた人材育成に力を入れていく。	概ね良好である。スタッフの対応については、概ね好意的な意見であったが、改善要望があった内容については、定期的な研修等により丁寧な接客対応に努める必要がある。
展示	〈満足度〉 85% ・満足 65% ・やや満足 20% ・どちらでもない 11% ・やや不満 3% ・不満 1%	〈満足度〉 90%	〈満足度〉 85% ・満足 68% ・やや満足 17% ・どちらでもない 12% ・やや不満 2% ・不満 1% 〈改善要望〉 「写真を撮れるようにしてほしい」「説明の文字を大きくしてほしい」「人気アニメの展示会を誘致してほしい」などの意見があった。	—	9月までは臨時休館が続き中止になった展覧会もあったが、10月以降はコロナ対策を徹底のうえ予定された展覧会を開催したことで、お客様に喜んでいただくことができた。会期を延長して開催した自主事業の展示イベント「世界の名画に親しもう」も好評であった。	良好である。改善要望があった内容については、予算措置も含め可能な限り取り組むとともに、引き続き満足度の高い展示の充実に努める必要がある。
総合評価 (各評価項目の平均)	平均満足度 84%	90%	平均満足度 84%	評価 (②満足度) —	全ての項目で高い満足度を獲得できるよう、社会の動向に対応し、お客様のニーズを探り、一つ一つの業務で改善を心掛ける。	概ね利用者から一定の評価は得ているが、引き続き要望等を踏まえた改善を図り、質の高いサービス提供に努める必要がある。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。
 ※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度
 S：90%以上
 A：80%以上、90%未満
 B：70%以上、80%未満

Ⅱ. サービスの質の評価 取組改善案	満足度については、維持管理業務、運営業務ともに一定の評価が得られている。引き続き、要望を踏まえた満足度の高い展示の充実等、質の高い来館者サービスの提供に努める必要がある。
-----------------------	---

※「Ⅱ. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R4年度)の主な取組改善案を記入してください。

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		R2実績	R3事業計画	R3実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	博物館観覧料	14,928,926	21,734,000	9,985,159	66.9%	45.9%	
	美術館観覧料	5,049,100	7,875,000	6,761,130	133.9%	85.9%	
	その他(年間パスポート収入等)	1,960,650	887,000	583,400	29.8%	65.8%	
	施設使用料	12,589,058	23,882,000	22,335,189	177.4%	93.5%	
指定管理料		351,315,000	339,850,000	339,850,000	96.7%	100.0%	
自主事業収入		30,195,854	26,254,000	17,508,900	58.0%	66.7%	
雑収益		8,352,358	1,080,000	15,437,438	184.8%	1429.4%	雇用助成金を含む
合計(A)		424,390,946	421,562,000	412,461,216	97.2%	97.8%	
(現状分析・課題)							
<p>上半期は県主催企画展「石川真生展」「新収蔵品展」「進化解」が会期縮小となり、利用料金収入が大きく落ち込んだが、下半期は県民向けの告知に力を入れ、複数の展覧会で目標を超える観覧者数を獲得した。また貸館の利用促進策の実施や雇用調整助成金を活用するなど収入確保に努めた。</p>							

(2) 支出

支出項目	R2実績	R3事業計画	R3実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費	94,399,248	79,462,000	71,180,264	75.4%	89.6%		
事務費	12,365,733	11,936,000	12,053,432	97.5%	101.0%	旅費交通費、通信運搬費、図書購入費、車両維持費、賃借料、保険料、支払手数料、租税公課、減価償却費	
施設管理費 ※委託費	174,556,733	180,668,000	176,664,088	101.2%	97.8%		
光熱水費	108,354,878	103,806,000	112,974,948	104.3%	108.8%		
修繕費	875,952	1,500,000	1,079,540	123.2%	72.0%		
集客対策費	5,302,827	9,000,000	3,294,783	62.1%	36.6%		
教育普及事業費	5,123,249	13,000,000	2,571,036	50.2%	19.8%		
諸経費	3,982,306	4,700,000	3,434,287	86.2%	73.1%	消耗什器備品、消耗品費	
自主事業費支出	34,568,838	25,530,000	18,395,268	53.2%	72.1%		
雑費	374,188	500,000	388,917	103.9%	77.8%		
合計(B)	439,903,952	430,102,000	402,036,563	91.4%	93.5%		
(現状分析・課題)							
<p>利用料金収入の減少が避けられない中で収支均衡を目指し、あらゆる支出の削減に努めた。今後の課題として光熱水費がある。光熱水費は従量基本単価に、需給等により増減する変動単価が加算されるが、昨今の社会情勢を受けてR3年度の途中から変動単価が高騰している。本施設は支出に占める光熱水費の割合が高いため、高騰が続けば、指定管理者の経営努力でカバーすることが難しく、課題となっている。</p>							

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	R2実績	R3事業計画	R3実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-15,513,006 円	-8,540,000 円	10,424,653 円	-67%	-122%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	-3.7%	-2.0%	2.5%	-69%	-125%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	8.1%	12.9%	9.6%	118%	75%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	21.5%	18.5%	17.7%	83%	96%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	39.7%	42.0%	43.9%	111%	105%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	2,807.7円	3,085.5円	2,884.1円	103%	93%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	2242.3円	2438.0円	2438.0円	109%	100%	
(現状分析・課題)						
収入確保と支出抑制に取り組んだ結果、R2年度より収支を改善し、黒字を確保できた。収支状況が改善したのは一時的な要因も含まれており、安定した財政状態にあるとはいえないため、今後も努力が必要である。						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)

—

【評価基準 (③財務状況)】

収益率 (事業収支/収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	コロナ禍で低い水準に留まっている利用料金収入を増加させるため、集客に力を入れ、顧客に喜ばれるサービスの提供に取り組む。その結果として持続可能で安定的な収支状態の実現を目指す。
----------------------------------	---

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R4年度)の主な取組改善案を記入してください。

参考:【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	備考
成果指標	①利用状況 利用者数	300,000人	521,680人	521,264人	524,904人	R4はコロナを加味した年度事業計画書の目標数。R5以降はコロナを加味しない事業計画書の目標数
	②満足度 満足度	90%	90%	90%	90%	下記評価基準S評価(90%)を目標
財務指標	③財務状況 収益率	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	コロナを加味しない事業計画書の目標値。ただしR4はコロナの影響により現時点で赤字見込のため、指定管理料の再算定が必要

2. 評価結果

評価項目	評価指標	R2実績	事業計画 (目標値)	R3実績	前年比		現状分析・課題	評価	取組改善案	R4 目標値
					前年比	計画比				
成果指標	①利用状況 利用者数	156,679人	200,000人	139,396人	89%	70%	コロナの感染拡大が続 き、5月から9月にかけて 計97日間の臨時休館を 余儀なくされた影響が 大きく、利用者数が減 少した。	—	これまで感染拡大による 事業中止リスクを避ける ため自主企画展や集客 イベント等を抑制してき たが、今後はこれらを展 開し、県民と観光客の誘 客に努める。	300,000人
	②満足度 満足度	82%	90%	85%	104%	94%	総合評価は前年比で上 昇したものの、「施設・ 設備管理」と「接客対 応」の項目は改善努力 の余地がある。	—	現場スタッフ向けの接客 研修を充実させ、館内 サービスの質的向上を 図る。施設・設備の経年 劣化が満足度低下をも たらしているため、県と修 繕・更新を協議する。	90%
財務指標	③財務状況 収益率	-3.7%	-2.0%	2.5%	-68%	-125%	コロナ禍で利用者数が 減少するなか、限られた 収益機会を活かすと同 時に経費の削減に取り 組んだ結果、黒字を確 保した。	—	昨今の燃料単価と賃金 相場の上昇が想定を超 えるスピードで起きてお り、今後は経営努力のみ で収支を均衡させること が困難になりつつある。 新たな収益機会の模索 や収支構造の見直しを 検討する。	0.1%
活動指標	④重点取組 事項 自主事業イ ベントの参 加者数	8,908	11,548	12,082	136%	105%	博物館常設展・美術館 コレクション展の魅力 を高めるプロジェクトや、 当財団総合研究セン ターとの連携イベント、 県立芸大や支援団体と の連携イベントに取り組 んだ。	—	今後も様々な主体と連携 して館の設置目的やお 客様のニーズに合致し たイベントを実施する。	8,717人 (概算)
総合評価		概ね良好である。 特に財務状況については、コロナ禍の厳しい状況の中、指定管理者の取り組みにより大幅な改善がみられる。 今後も引き続き、財務状況の安定に取り組むとともに、満足度等の更なる向上に向けて取り組んでいく必要がある。								

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「R4目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度(R4年度)の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度 (各評価項目の平均値)

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率 (事業収支/収入合計)

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成

【総合評価基準】

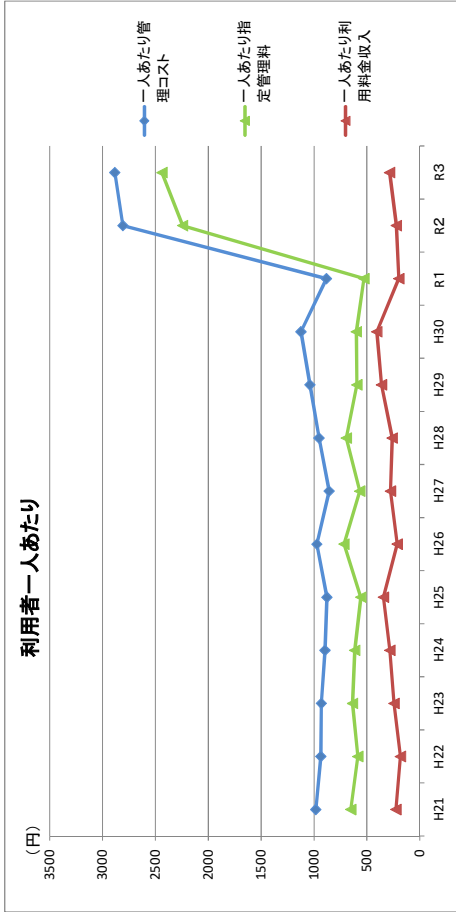
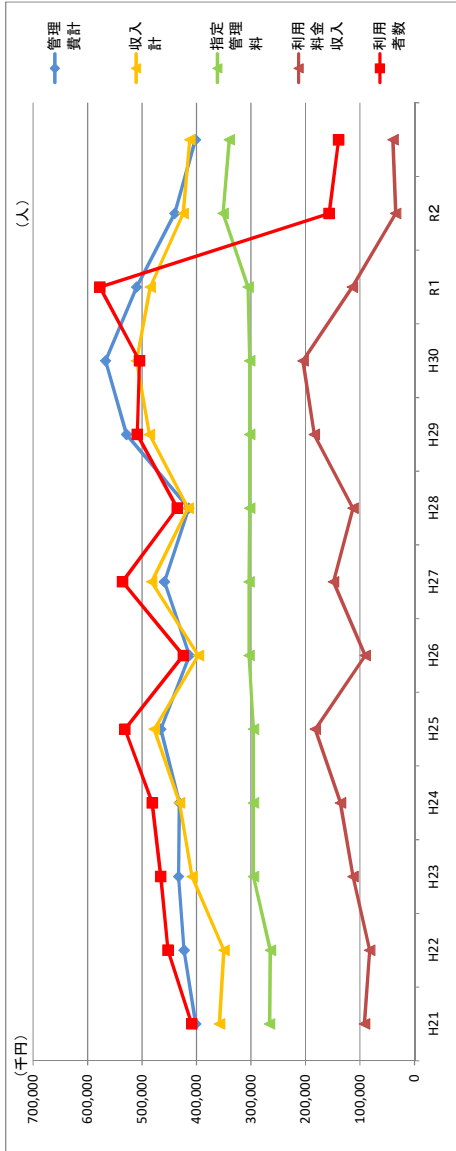
	総合評価 (合計点数)
S	35点以上
A	20点以上
B	10点以上
C	9点以下

<各評価項目点数>

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称：沖縄県立博物館・美術館

指標		指定管理																	
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3					
成果指標	利用者数	目標	実績	目標比	H21比	%	満足度	指定管理料	果負担割合(指定管理料/管理費計)	利用料金収入	利用料金比率/収入計	自主事業収入、その他収入	収入計	管理費計	収支	収益率(収支/収入計)	一人あたり管理コスト	一人あたり指定管理料	一人あたり利用料金収入
	535,600	408,670	76.3%	86%	266,051	66.3%	66.3%	91,918	25.7%	357,969	401,530	-43,561	-12.2%	983	651	225	983	651	225
	480,000	452,502	94.3%	82%	264,753	62.6%	62.6%	91,918	25.7%	349,983	422,966	-72,983	-20.9%	935	634	182	935	634	182
	480,000	481,373	100.3%	85%	295,427	61.5%	61.5%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
財務指標	管理費計	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	収支	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	収益率(収支/収入計)	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	一人あたり管理コスト	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	一人あたり指定管理料	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	一人あたり利用料金収入	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	管理費計	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	収支	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	収益率(収支/収入計)	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342
	一人あたり管理コスト	480,000	457,038	95.2%	85%	303,867	63.4%	90,533	22.8%	477,382	465,764	11,618	2.4%	877	556	342	877	556	342



特記事項
R3年度 コロナの影響による臨時休館等が響き入館者数はR2年度より減少したが、収益確保の確保に努め利用料金収入を増加させた。併せて経費削減や雇用調整助成金の活用などに取り組んだ結果、黒字を確保した。
R2年度 コロナの影響で収入がR1年度に比べ79,887千円減少したが、指定管理者のコスト削減により支出を70,180千円削減した。指定管理料の見直し(増額)もあり、収支としてはR1年度より9,374千円改善したものの、依然として赤字となった。
R1年度 博物館常設展、美術館コレクション展および施設使用料の料金改定を行い、合わせて利用促進に努めた結果、利用料金収入が大きく増加した。一方で、光熱水費が依然として増加を続け、また2月以降は新型コロナウイルスの影響で自主企画展の中断を余儀なくされるなど収入面で打撃を受けた。
H30年度 観光客の誘客施策が奏功し博物館観覧料収入、美術館観覧料収入とも増加したが、光熱水費が増加したこと、機械設備の高額な定期メンテナンスを実施したため委託費が上がったこと、貸施設の大型企画展が無観覧料収入が減少したことにより、収支差額が悪化した。

目標設定の考え方
R3年度 入館者数目標の設定にあたっては、コロナの影響により観光客の本館者数は落ち込み、県民の活動が抑制され、また館内の利用制限が生じること等を考慮した。併せて本館が沖縄の自然・歴史・文化の拠点として県民に親しまれるために当該団が取り組む利用促進策による増加分を勘案し、目標値を200,000人と設定した。
R4年度 コロナの影響は緩和と見込まれるが、自主企画展として「悠久のシルクロード展」スケジュール展を開催するほか、復帰50年関連展覧会の広報宣伝を強化するなど集客に力を入れ、入館者数目標値を300,000人と設定する。
R5年度 本館が沖縄の自然・歴史・文化の拠点として県民に親しまれるとともに、県外・海外観光客にとって魅力ある観光施設としての機能を発揮することを旨とする。
R6年度 本館が沖縄の自然・歴史・文化の拠点として県民に親しまれるとともに、県外・海外観光客にとって魅力ある観光施設としての機能を発揮することを旨とする。事業計画書の入館者数目標521,264人。

4. その他

(1) アンケート集計

令和3年度「総合アンケート」集計（集計期間：2021年4月～2022年3月）

（回収件数：827 単位：人）

問1 年齢									
①10歳未満	②10代	③20代	④30代	⑤40代	⑥50代	⑦60代	⑧70歳以上	無回答	
76	178	123	58	76	160	80	62	14	
問2 性別									
男性	女性	無回答							
311	415	101							
問3 お住まい									
県内	県外	無回答							
531	272	24							
問4 職業									
①会社員	②公務員	③自営業	④家事	⑤学生	⑥その他	無回答			
134	55	50	48	303	133	104			
問5 誰と来館したか									
①一人	②友人・知人	③家族	④団体	⑤仕事	⑥修学旅行	⑦ツアー旅行	⑧その他	無回答	
255	164	247	22	5	24	1	12	97	
問6 来館時の交通機関									
①自家用車	②タクシー	③レンタカー	④モノレール	⑤路線バス	⑥観光バス	⑦貸切バス	⑧バイク・自転車	⑨徒歩	⑩その他
281	20	56	121	51	15	24	30	121	13
無回答									
95									
問7 何回目の来館？									
初めて	2回目	3回目	4回目	5回以上	無回答				
283	86	72	29	258	99				
問8 来館目的(複数回答)									
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他	
337	189	229	175	16	21	28	14	82	
問9 来館目的となった情報源(複数回答)									
①クチコミ(SNS等)	②テレビ	③ラジオ	④新聞	⑤雑誌	⑥チラシ・ポスター	⑦インターネット	⑧友人・知人	⑨職場	⑩その他
60	53	9	52	7	137	159	152	18	161
問10 来館目的以外に利用した施設(複数回答)									
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他	
156	94	110	79	15	13	37	22	63	

問11 どのチケットで入場したか					
①当日券	②前売券	③年間パスポート	④1 DAY PASS	⑤その他	無回答
364	8	16	67	133	239

問12 展示内容について					
①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
422	144	25	15	10	211

問13 常設展も併せて観たか		
①観た	②観なかった	無回答
441	142	244

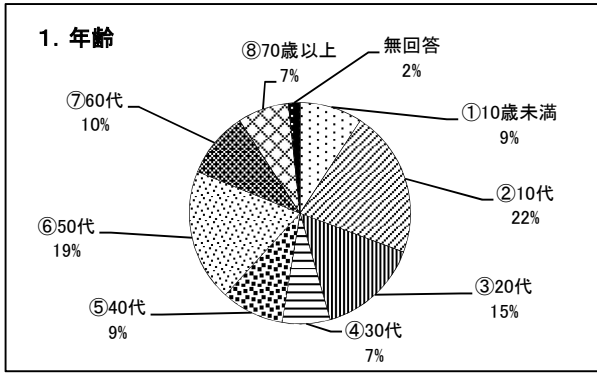
問14 当館をご利用になって						
総合案内・チケット販売係の対応	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	418	86	90	7	2	224
展示室係の対応	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	378	98	98	17	11	225
館内の清掃について	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	519	64	34	6	2	202
館内備品・貸出備品について	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	383	64	107	6	8	259
案内板・サイン	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	364	120	79	18	9	237
観覧料金について	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	398	86	81	15	9	238
当館主催のイベントについて	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	357	78	101	6	6	279
総合満足度	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	無回答
	417	124	39	7	9	231

問15 博物館・美術館でやってみたいこと、やってほしいこと(複数回答可)	
①アニメ、マンガ、ファッションに関する展示を観たい	391
②有名な作品が見たい	373
③子どもの学習や自由研究に活かせる展示を観たい	231
④家族で楽しめる展示を観たい	220
⑤沖縄の歴史・文化・自然・美術等について学びたい	481
⑥沖縄の伝統文化や生活様式等を体験・体感したい	278
⑦作品発表会や芸能公演、ライブ・パフォーマンス等への開催・参加	99
⑧オリジナルグッズの購入	167
⑨沖縄の美術工芸品や工芸品、雑貨類の購入	228
⑩沖縄の伝統料理や菓子等を味わいたい	200
⑪子ども(乳幼児含む)と一緒にくつろぎながら作品を観賞したい	81
⑫その他	50

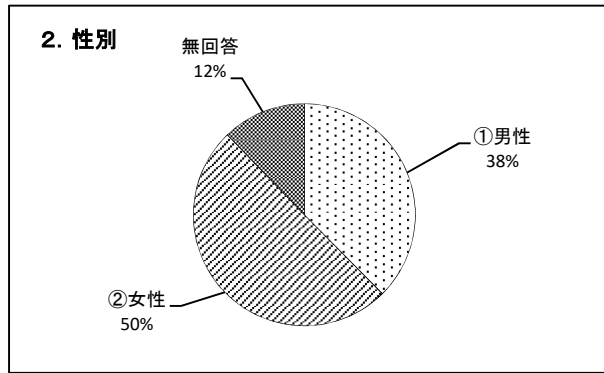
問16 ご意見・ご要望

→ 各月の月報に掲載しているため省略

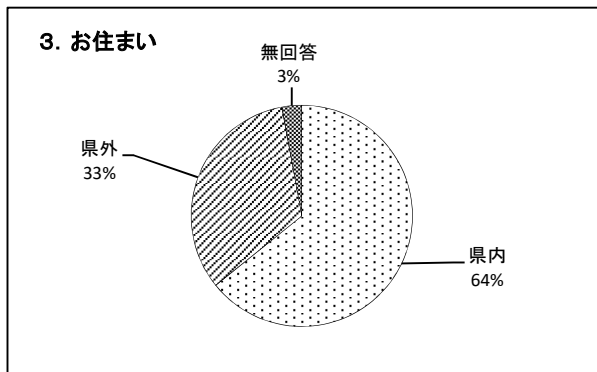
問1 年齢



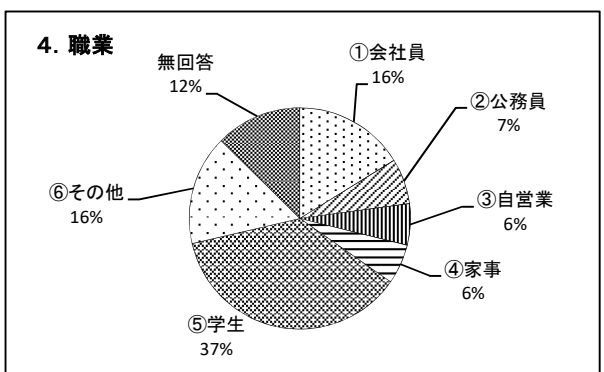
問2 性別



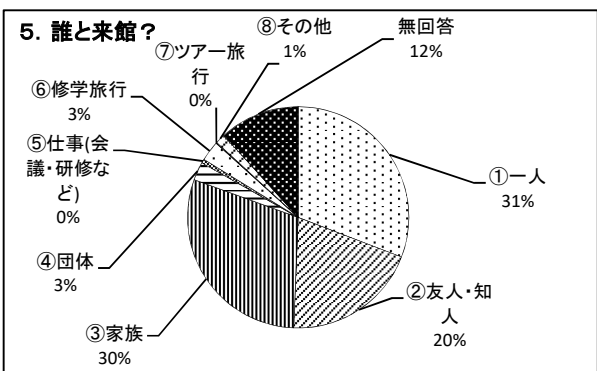
問3 お住まい



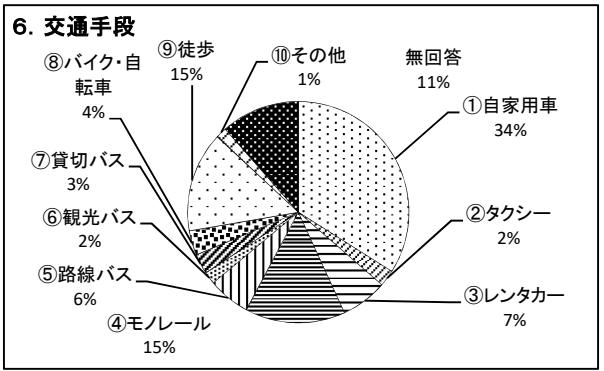
問4 職業



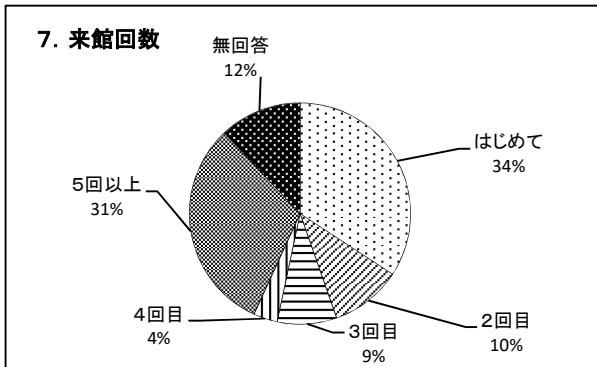
問5 誰と来館したか



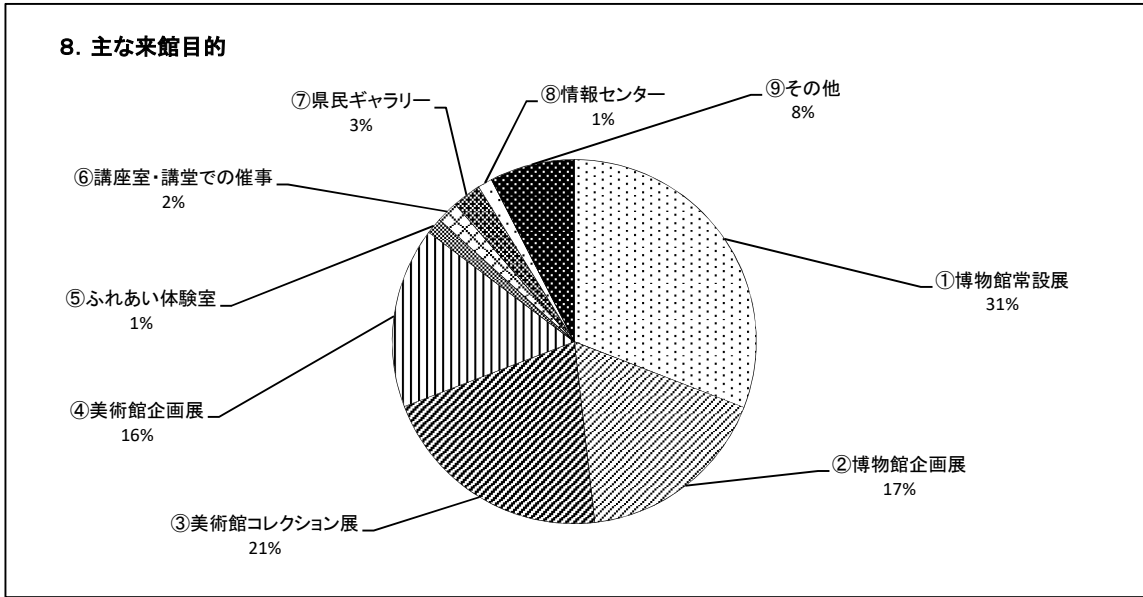
問6 来館時の交通機関



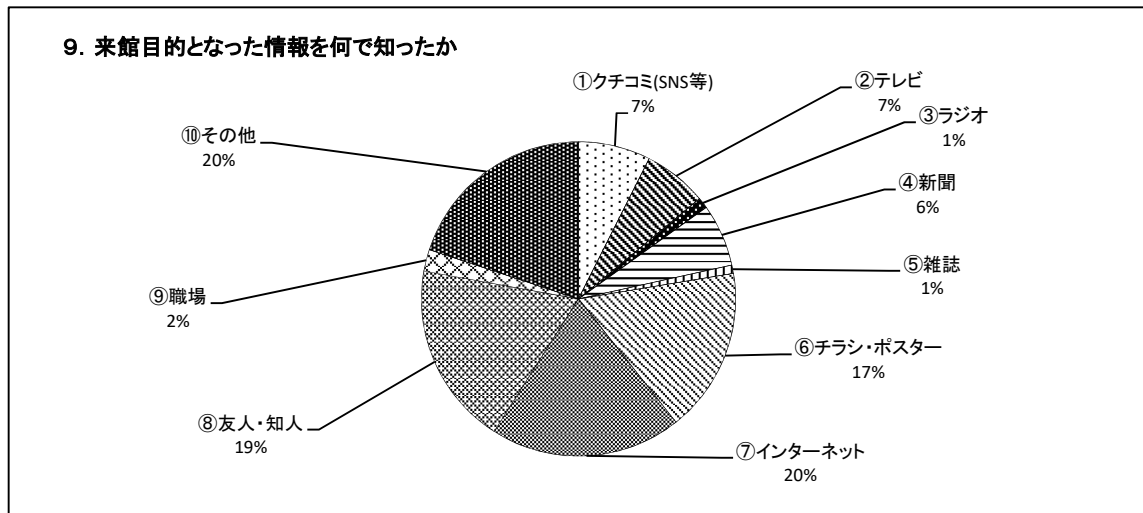
問7 何回目の来館?



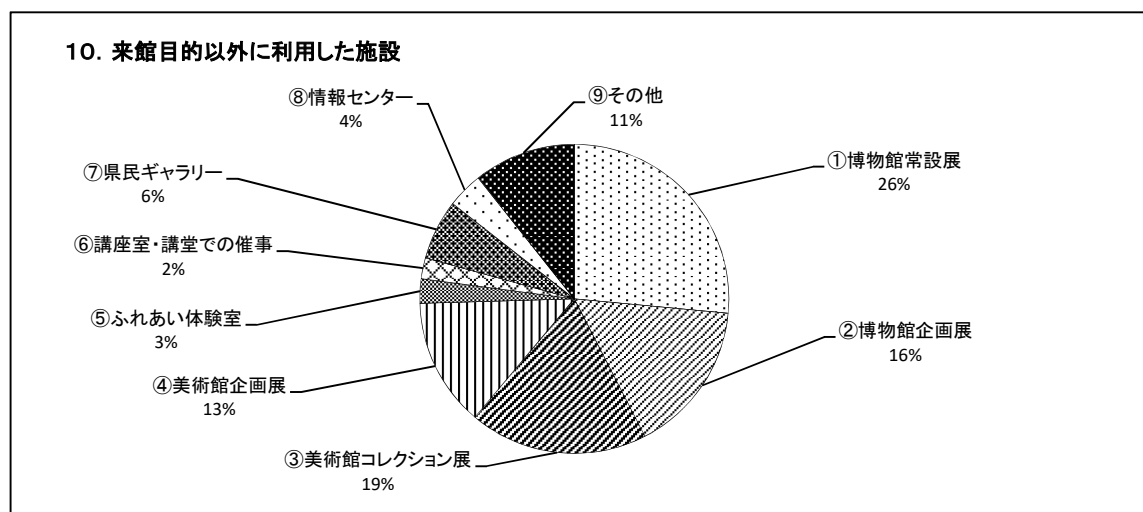
問8 来館目的(複数回答)



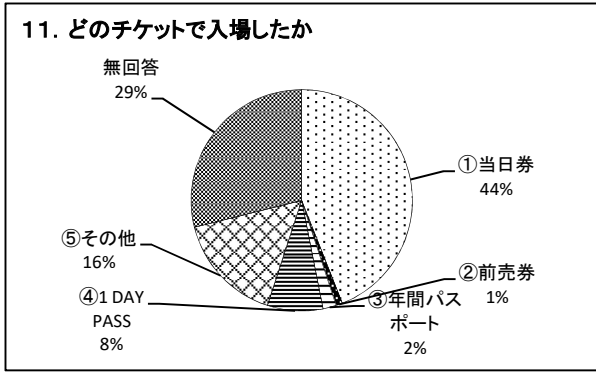
問9 来館目的となった情報源(複数回答)



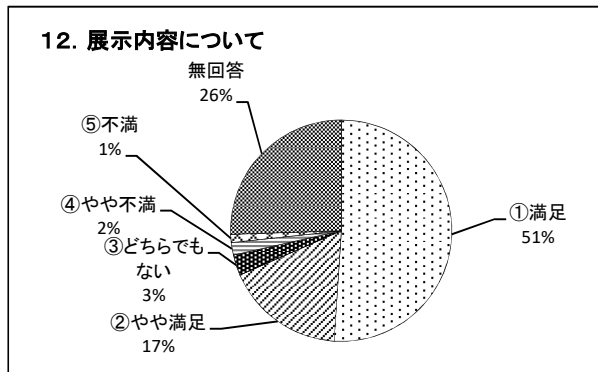
問10 来館目的以外に利用した施設(複数回答)



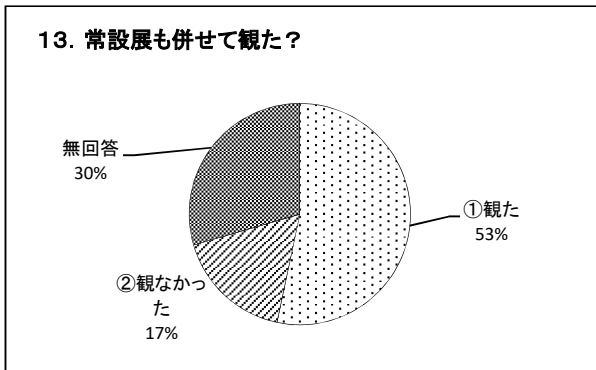
問11 どのチケットで入場したか



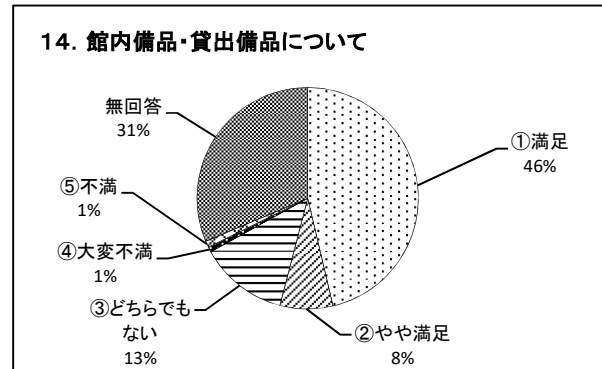
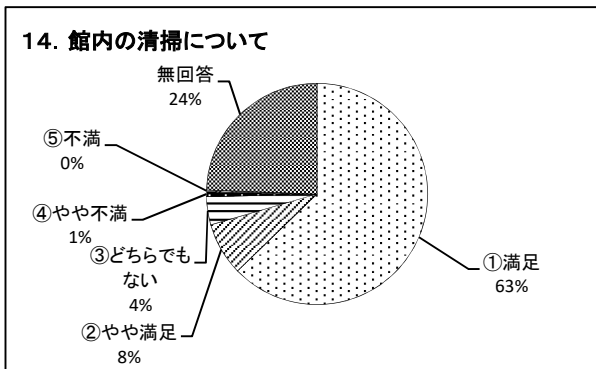
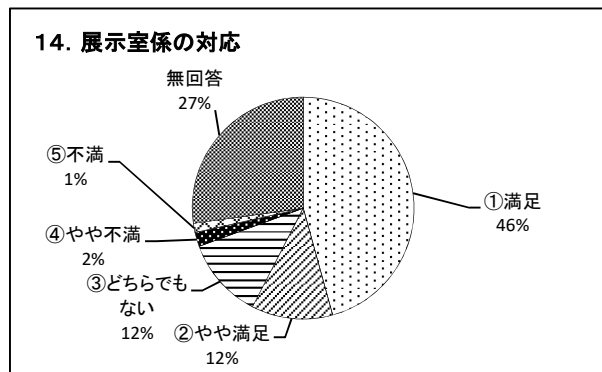
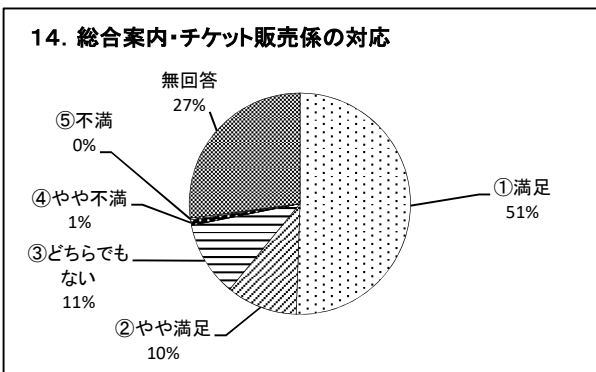
問12 展示内容について



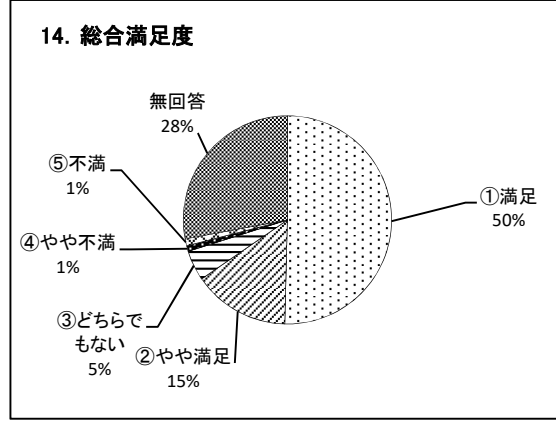
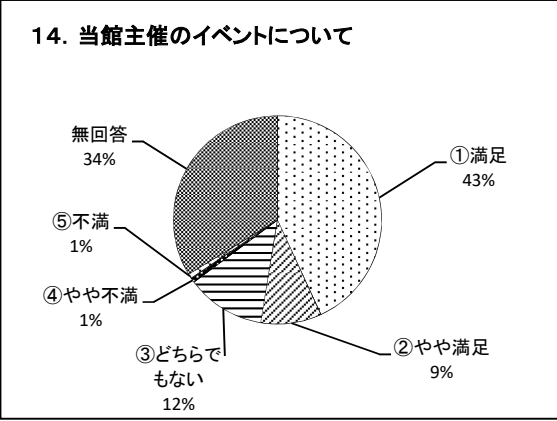
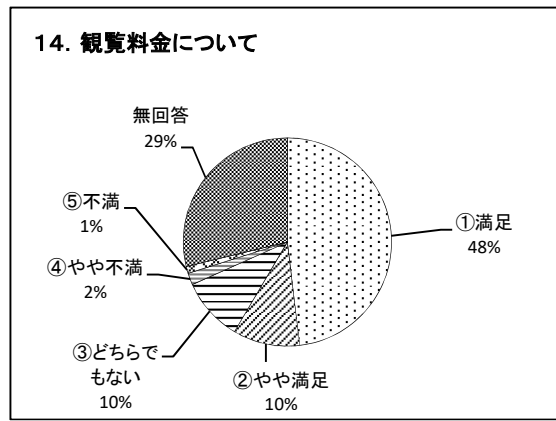
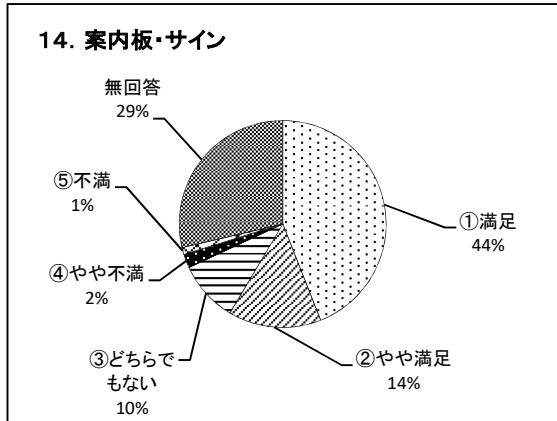
問13 常設展も併せて観たか



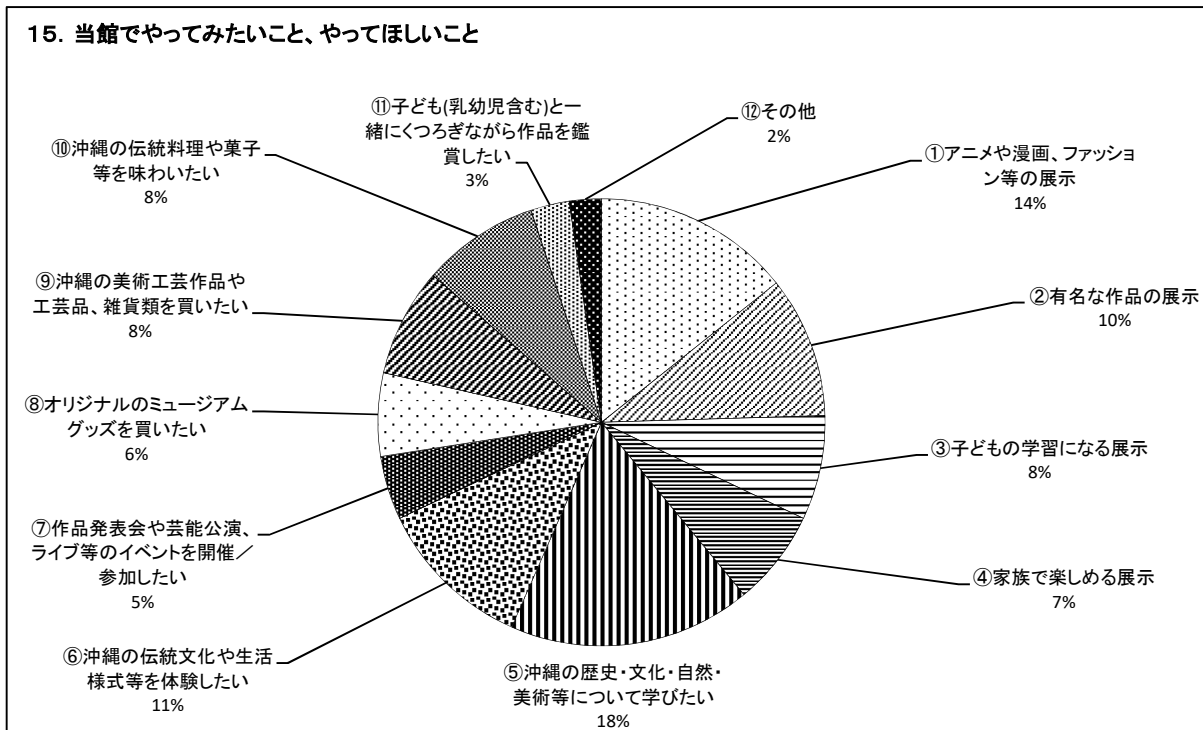
問14 当館をご利用になって



問14 当館をご利用になって



問15 博物館・美術館でやってみたいこと、やってほしいこと(複数回答可)



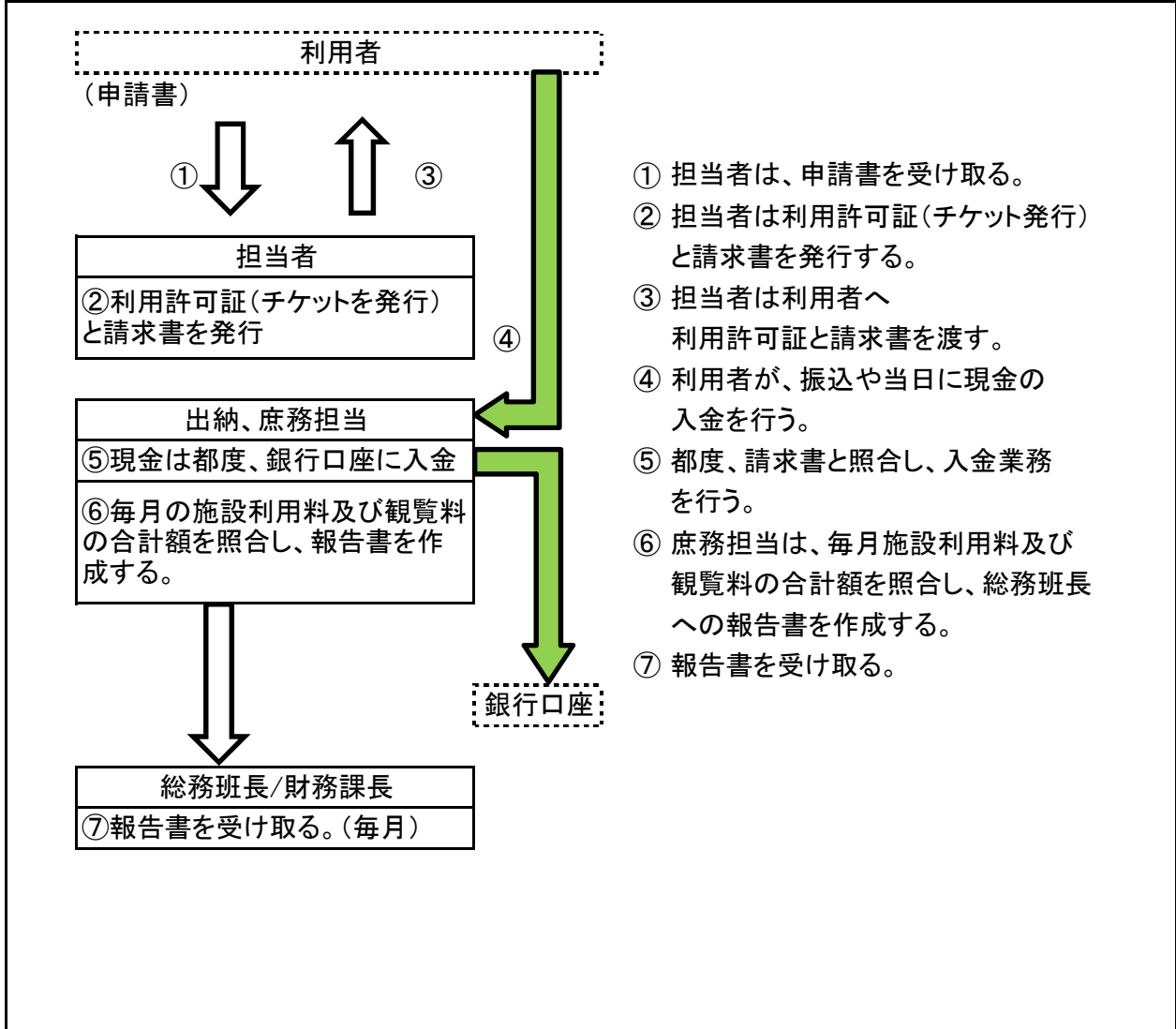
問16 ご意見・ご要望

→ 各月の月報に掲載しているため省略

料金徴収フロー図

利用料金の名称	観覧料及び施設利用料	施設の名	沖縄県立博物館・美術館
---------	------------	------	-------------

フロー図	利用料金の種類と金額
<p>□ …… 職員等</p> <p>□ …… 職員等以外</p> <p>⇒ …… 書類等の流れ</p> <p>⇒ …… 現金の流れ</p>	<p>別紙資料添付</p> <p>※利用料金が多種類ある場合は、別紙とすることも可能。 (備考)</p>



料金徴収フロー図

利用料金の名称	観覧料及び施設利用料	施設の名称	沖縄県立博物館・美術館
---------	------------	-------	-------------

利用料金の種類と金額

【観覧料料金】

■常設展

区分	博物館常設展		美術館コレクション展	
	個人	団体	個人	団体
一般	530円	420円	400円	320円
高大生	270円	220円	220円	180円
県外小中生	150円	120円	100円	80円

■企画展・特別展

企画展又は特別展は、3,150円を超えない範囲内で、その都度、決定する。

■年間パスポート

	観覧できる 展覧会	料金の種類	一般	高校生	小・中学生		70歳以上	
				大学生	県外	県内		
全館	プレミアム メンバー	博物館 美術館	年会費	7,400	4,900	2,900	2,200	6,400
			更新割引	6,900	4,400	2,400	1,700	5,900
博物館	スペシヤ ルメン バー	博物館 すべての 展覧会	年会費	3,900	2,500	1,400	1,050	3,200
			更新割引	3,600	2,200	1,200	900	2,900
	スタン ダードメン バー	博物館 常設展	年会費	1,200	750	450	無料	無料
			更新割引	—	—	—	—	—
美術館	スペシヤ ルメン バー	美術館 すべての 展覧会	年会費	4,100	2,800	1,500	1,200	3,200
			更新割引	3,800	2,500	1,200	900	2,900
	スタン ダードメン バー	美術館 コレクシ ョン展	年会費	900	600	300	無料	無料
			更新割引	—	—	—	—	—

料金徴収フロー図

利用料金の名称	観覧料及び施設利用料	施設の名称	沖縄県立博物館・美術館
---------	------------	-------	-------------

利用料金の種類と金額

【施設利用料】

施設利用料金

施設区分 (利用単位)	入場料を徴収 しない場合	入場料を徴収 する場合	空調設備 (1時間)	
博物館施設 (1日)	企画展示室	30,480円	660円	
	特別展示室	39,920円	870円	
	実習室	12,000円	36,100円	200円
		(6,000円)	(18,050円)	
講座室	21,200円	63,700円	360円	
	(10,600円)	(31,850円)		
美術館施設 (1日)	県民ギャラリー1	10,800円	180円	
	県民ギャラリー2	10,000円		
	県民ギャラリー3	10,000円		
	県民ギャラリー スタジオ	10,900円	170円	
		(5,450円)		
	県民アトリエ	9,360円	28,000円	150円
		(4,680円)		
	こどもアトリエ	10,000円	30,000円	170円
		(5,000円)	(15,000円)	
	企画展示室1	34,370円	103,080円	740円
企画展示室2	42,640円	127,920円	930円	
講座室	12,100円	36,500円	210円	
	(6,050円)	(18,250円)		
その他 (1時間)	講堂	4,500円	13,600円	620円

※()内は、準備・片付けを含めてご利用が4時間以内の施設利用料です。

附属設備(冷房設備を除く。)の利用料金

種別	品名	金額	利用単位
演台器具	演台	340円	1台
音響器具	メインスピーカー	1,100円	1式
	ワイヤレスマイク	670円	1本
	ダイナミックマイク	230円	1本
	バウンダリーマイク	340円	1本
	ビデオテープレコーダー	780円	1台
	DVDプレーヤー	1,380円	1台
	CD、MDプレーヤー	440円	1台
	HD/DVDレコーダー	1,380円	1台
照明器具	ポーターライト	340円	1列
	サスペンションライト	550円	1列
	アッパーホリゾンライト	780円	1列
	シーリングライト	670円	1列
	センターピンスポットライト	440円	1台
その他	書画カメラ	880円	1台
	ビデオプロジェクター	1540円	1台
	電動スクリーン	1,220円	1式

労働条件等自主点検表

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	令和3年度
指定管理者名	一般財団法人 沖縄美ら島財団		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所に○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																					
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む。）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません〔労働基準法（以下「法」といいます。）第15条〕</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している</td> <td style="width: 15%;">労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している</td> <td style="width: 15%;">労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない</td> <td style="width: 15%;">労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している</td> <td style="width: 15%;">労働契約締結時には明示していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○ 1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（3～5については、改善が必要です）</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない	○ 1	2	3	4	5											
就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																		
○ 1	2	3	4	5																		
<p>2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">常時使用する労働者は10人未満である。</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">常時使用する労働者が10人以上である</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている</td> <td style="width: 15%;">作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない</td> <td style="width: 15%;">作成してあるが、監督署に届け出ていない</td> <td style="width: 15%;">作成していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">○ 2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（3～5については、改善が必要です）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である				作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない	1	○ 2	3	4	5							
常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																					
	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																		
1	○ 2	3	4	5																		
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">週休2日制</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">週休1日制</td> <td style="text-align: center;">その他</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">完全（毎週）</td> <td style="width: 10%;">月3回</td> <td style="width: 10%;">隔週</td> <td style="width: 10%;">月1～2回</td> <td style="width: 10%;">週1日</td> <td style="width: 10%;">4週4日</td> <td style="width: 10%;">4週3日以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○ 1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（7については、改善が必要です）</p>	週休2日制				週休1日制		その他	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	○ 1	2	3	4	5	6	7
週休2日制				週休1日制		その他																
完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																
○ 1	2	3	4	5	6	7																

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
1	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

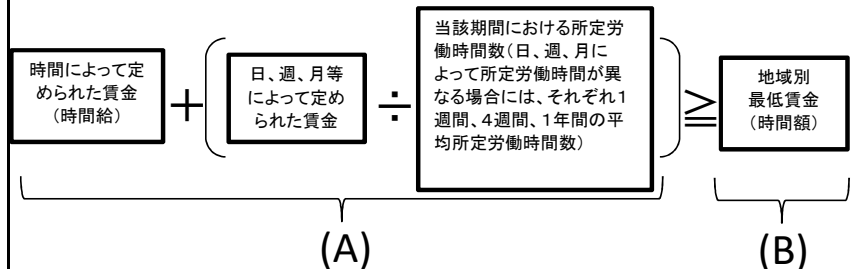
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
1	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	103	18	85

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	厚生労働省雇用保険の加入要件を満たしていないため。
	・1週間の所定労働時間が20時間以上であること。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	103	18	85	18	85

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	厚生労働省、日本年金機構の加入要件を満たしていないため。
	以下の(1)~(4)の要件をすべて満たす短時間労働者 (1)1週間あたりの決まった労働時間が20時間以内であること (2)1か月あたりの決まった賃金が88,000円以上であること (3)雇用期間の見込みが一年以上であること (4)学生でないこと

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。